

ANOR ニュースレター From Australia( 2006.12)

ANOR のメンバーの皆様に、ゲリーギレスピーが纏めた、2006 年 12 月発行のニュースレターをお読み頂き有難う御座います。

ANOR に対する関心が、豪州で高まっており、来年は多くの会員が増える事を期待している。

有機性資源のマーケティングに関して、2007 年末に豪州でセミナーを計画している。

このセミナーは、出来れば、ANOR の会合と一緒に開きたいと思っているので、若し、金銭面のサポートをしてくれる会社があれば、下記のメールアドレスにコンタクトをお願いする。

([gerry.gillespie@environment.nsw.gov.au](mailto:gerry.gillespie@environment.nsw.gov.au))

気候変動の問題に関する関心が高まっており、将来の世代の為に、本当に必要な事は注意深い農業管理と有機性肥料製品を土壌に還元する事で、土壌を守り、大量の炭素を土壌と植物中に、隔離する事である。

昨年、豪州で炭素連合と称する新しいグループは結成された。ウェブサイトは <http://www.carboncoalition.com.au/> である。

今回のニュースレターは、豪州で著名な研究者である、西豪州政府農業部のポップ・ポーリン博士から始めたい。

若し、来年 1 月に、アメリカのオーランドで開催される、アメリカ・コンポスト協会のコンフェランスに参加される方がおられれば、同博士の講演を聞けると思う。

下記は同博士の論文のサマリーである。

野菜生産にコンポスト土壌改良剤を使用する利点の確認  
メディア・サマリー

野菜生産にコンポストを投与する利点の確認をする為の全国調査では、商品化率と土壌品質の向上が認められた。

定期的な投与は、土壌中の窒素と炭素を増やし、土壌の生物的活動を活発にし、イオン交換能力を高め、保水力を増し、土壌密度を下げ、PH を安定させる働きがある。

葉物作物の生産には、高品質のコンポストは有効窒素の増加、収量増をも齎し、化学肥料の施肥量の削減が可能と思われる。

根菜は、コンポストの品質に敏感で、歩留まりと品質の向上はそれ程、顕著ではなかった。これらの作物へのコンポスト投与の効果を十分に上げるには、土壤の肥沃度が上る様に施肥管理を行う必要がある。

恒常的なコンポストの投与が最も大きな効果を上げるのは、予測しない気候変動、灌漑や設備の不備、人間の誤りがあった場合で、通常は収量が落ちるのに、この方式では、それを避けられる事である。

これは、コンポストが土壤中の有機物の量を増やす事で、土壤の下記の能力を高めるからである。

- 有効窒素及び保水力
- 土壤中の通気と排水の維持と改善
- 適正な PH の維持と土壤浸食の防除

一番重要な発見は、コンポストが植物の有効窒素の供給を増やし、非有機態窒素の必要量を大幅に削減する事である。

コンポストは植物が必要とする燐酸、カリウム、マグネシウム、それに窒素を供給しそれらは、土壤中に残留し、将来の作物に利用されるのである。

コンポストの利点を十分に生かすには、生産者はコンポストの使用を通常の栽培管理のプログラムと連動させる必要がある。

化学肥料、灌漑、殺虫剤との組み合わせを上手く行えば、生産量を増し、土壤と土壤中の水分の質を下げずに良質の作物を生産出来る可能性がある。

土壤中の有機物のレベルを上げることが重要である。

テクニカルサマリー、コンポスト使用への道標、有機資源再生利用フォーラム、輸送費並びに労力の削減の為に液状化コンポストの研究、EM 菌関連情報等、翻訳省略